



平成24年4月25日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## お知らせ

韓国の油防除体制強化に貢献

### 韓国海洋環境管理公団による国土交通省 油回収船「清龍丸」視察

～韓国海洋環境・防災機関、我が国最大の油回収船を視察・意見交換～

#### 1. 概要

韓国海洋環境管理公団<sup>(注)</sup>(KOEM: Korea Marine Environment Management Corporation)が、中部地方整備局所属の我が国最大の浚渫兼油回収船「清龍丸」を視察、業務概要などに係る情報収集・意見交換を行います。

これは、2007年12月に韓国西岸で発生したタンカー油流出事故を契機とする韓国の流出油の防除体制強化の検討の一環として、同公団が国土交通省の油回収船の視察などを行っているものです。

<sup>(注)</sup>韓国海洋環境管理公団: 海洋汚染防除事業、海洋汚染関連の技術開発等のため設立。

#### 視察予定機関

韓国海洋環境管理公団、韓国公共投資研究所、独立行政法人海上災害防止センター<sup>(注)</sup>  
計5名。<sup>(注)</sup>(独)海上災害防止センターは韓国海洋環境管理公団の日本での業務協力協定締結先。

なお、韓国からの清龍丸視察は、初めてのことです。

2. 日時 平成24年4月27日(金) 14時～15時30分

3. 場所 国土交通省浚渫兼油回収船「清龍丸」船内(名古屋市港区空見町39番地地先に接岸時)

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス。

5. 取材場所 清龍丸視察時の撮影(カメラ撮りのみ、撮影エリアは限定させていただきます)。視察終了時のぶら下がり取材可。

#### 6. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

海洋環境課 塚本(つかもと) Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

# 浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

## 「清龍丸」の業務

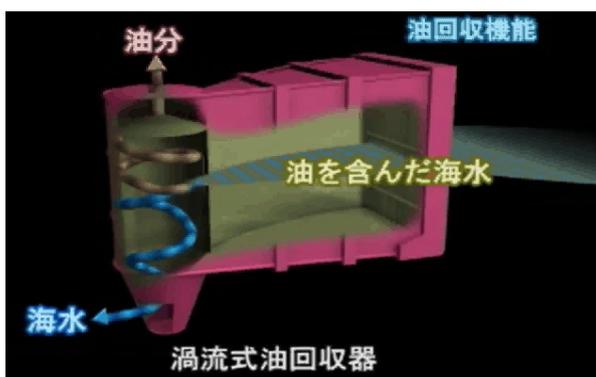
- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
- 災害時には、防災作業(災害情報収集、被災地での給水・電力供給等)。  
情報収集・発信用の通信システム、防災要員運搬等のためのヘリデッキを装備。

## 「清龍丸」の諸元

- 所属:国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港:名古屋港
- 着岸岸壁:水深 -7.5m以上
- 全長;104m、全幅;17.4m、  
純トン数4,792t
- 最大速力;13.5kt(約25km/h)



- 現在の「清龍丸」は2代目(2005年(平成17年)就航)。初代「清龍丸」の油回収出動回数10回、総回収量約1,200kl、総出動日数115日。
- 2代目「清龍丸」は、初代の油回収ノウハウを活かし、2種類の油回収装置の設置や防災支援機能の強化など、世界最先端の能力を有する。



←**低粘度油回収装置の原理**  
油膜状に広がっている油に対応。



ヘリ着船



給水



船内災害対策室

